

# 青森操車場跡地利用計画素案について



青森市

# 1. はじめに（これまでの経緯）

昭和59年 青森操車場の操車場機能停止

平成9年 青森操車場跡地利用構想策定検討委員会設置

「青森操車場跡地利用構想」策定

## 利用コンセプト 緑豊かな交流拠点 ～あおもりセントラルパーク～

- ・青森市の新しいシンボル・顔となる「青い森」を築き、青森市のイメージや情報の発信を行う緑の拠点とする。
- ・多様な交通の結節点として利便性の向上を図る交通拠点とする。
- ・多様な人びとが集い憩いにぎわう新たな交流拠点とする。
- ・バリアフリーや克雪、さらには地球環境など人や自然にやさしい新しい都市づくりのモデル地区とする。

### 【導入機能】

- ・都市ゾーンのアオアシスとなる緑のセントラルパーク
- ・市街地全体の利便性を強化する交通結節点
- ・どこからでもアクセス容易な交流拠点

### 【補完的機能】

- ・健康福祉：だれもが都心生活を楽しめる安全快適ゾーン
- ・資源循環：資源・エネルギー循環モデルゾーン

青森操車場跡地利用構想 イメージ図 (H9)



平成9年度 国鉄清算事業団から操車場跡地21.5ha取得

平成13年度 青森操車場跡地早期利用計画策定（県・市）

平成15年度 青い森セントラルパークとして供用開始

# 1. はじめに（これまでの経緯）

平成19年度～ 「青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン事業」に係る検討

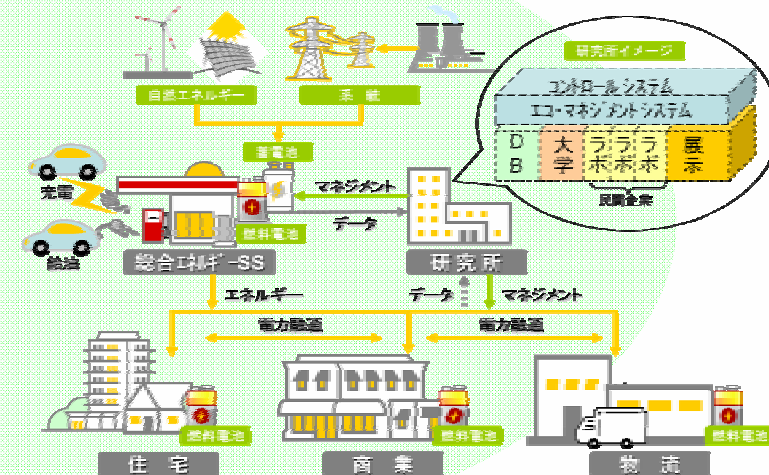
民間開発可能性調査の実施

青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン構想検討会（民間事業者等）  
青い森セントラルパーク活用計画検討委員会（県・市）  
青い森セントラルパークを考える会（有識者や地元町会）

平成22年度 青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン構想の策定  
平成22年度 青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン事業実施方針の策定

## 低炭素型モデルタウンにおけるまちづくりの目標

1. 世界に発信するゼロカーボンタウン
2. 雪と共生する快適な青森発北国モデルタウン
3. 人と緑と未来にふれあう交流のまち
4. 大学等の研究機関と連携した新たなライフスタイルの創出
5. 誰もが健康で元気と活力にあふれたまち
6. エリアマネジメントの実施
7. 人にやさしく魅力あふれる景観形成



イメージ図

平成23年度 「青い森セントラルパーク全域を防災のため継続して公有地として管理することを求める請願」の採択

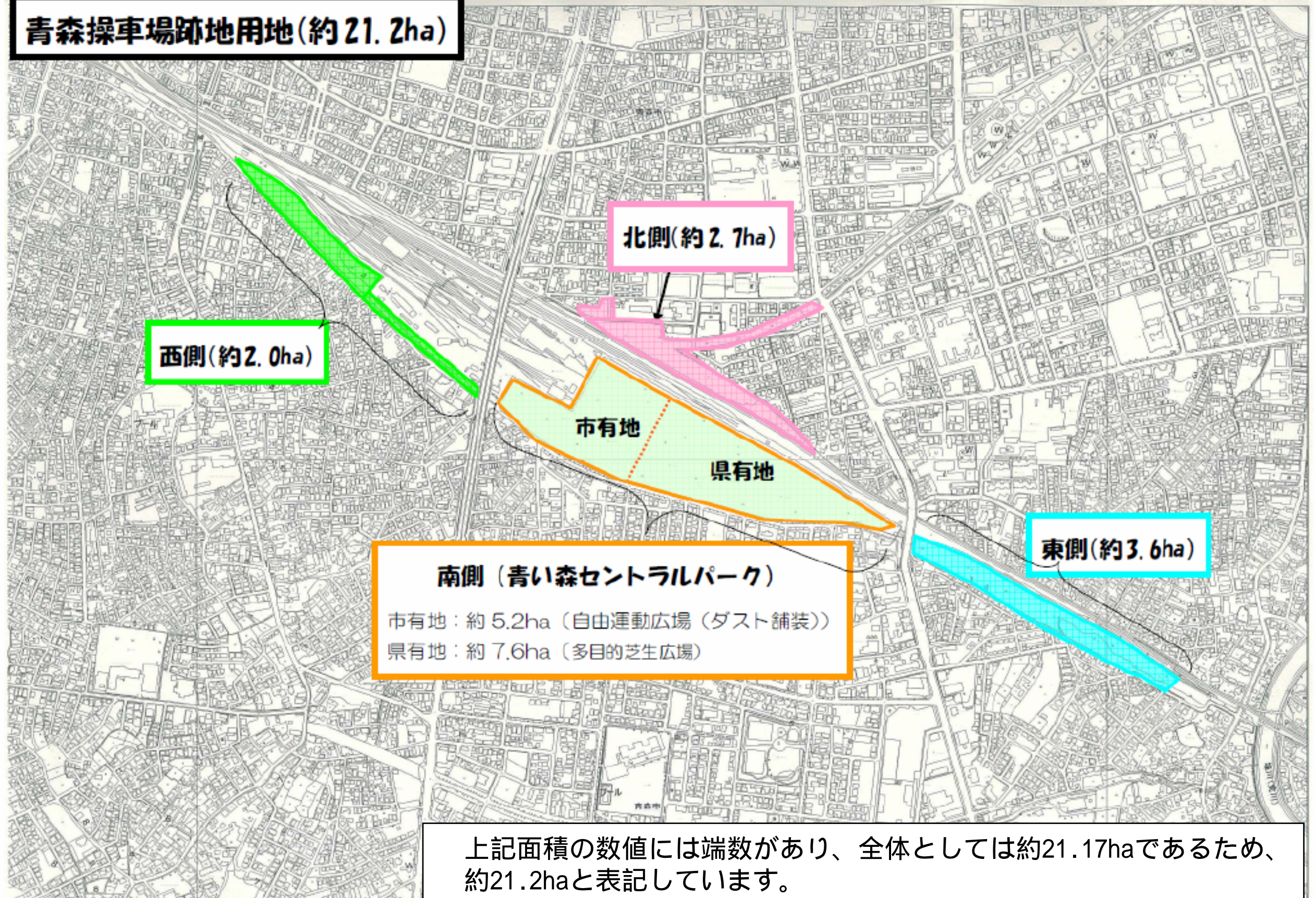
「青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン事業」の中止

平成24年度 「青森操車場跡地利用計画素案」策定



## 2. 対象敷地

### 青森操車場跡地用地(約21.2ha)





# 3. 市の計画における青森操車場跡地の位置づけ

## (1) 青森操車場跡地利用構想 (H9年)

### 利用コンセプト

『緑豊かな交流拠点～あおりセントラルパーク』  
青森市の新しいシンボル・顔となる「青い森」を築き、青森市のイメージや情報の発信をおこなう**緑の拠点**とする。

多様な交通の結節点として利便性の向上を図る**交通拠点**とする。

多様な人びとが集い憩いにぎわう新たな**交流拠点**とする。  
バリアフリーや克雪、さらには地球環境など人や自然にやさしい新しい都市づくりのモデル地区とする。



### キーワード・ポイント

緑の拠点  
交通拠点  
交流拠点

## (2) 青森都市計画マスタープラン (H11年)

### 重点整備拠点 - 青森操車場跡地

**緑の拠点**として、市街地内の公園・緑地、街路樹、河川等との緑のネットワーク拠点を形成し、青い森に象徴され青森の新しいシンボルとなる緑の大空間を整備する。

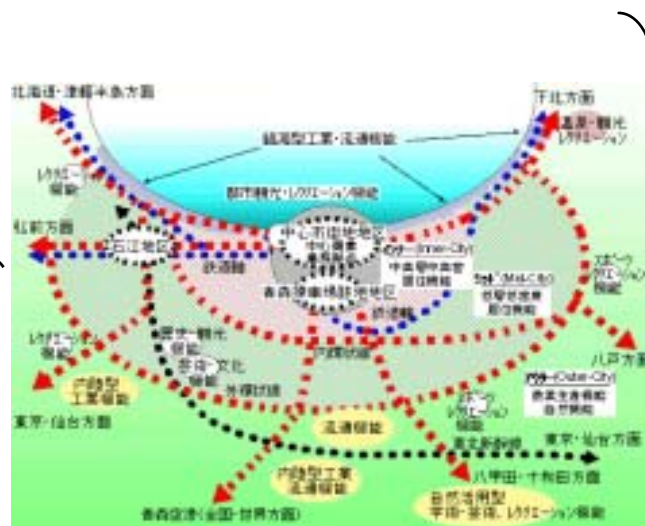
また、東北本線により分断されている中心市街地とミッド (Mid-City)、アウター (Outer-City) との連絡結節点として、

**南北市街地の交通アクセスの強化**を図ると

ともに、**鉄道新駅の設置**や**バス公共交通の**

**整備等**による**交通拠点機能の強化**を図る。

更には、交通アクセス性を活かした**交流拠点**としての整備を行う。



### キーワード・ポイント

緑の拠点  
南北市街地の交通アクセス強化  
交通拠点機能の強化  
交流拠点

### (3) 青森市緑の基本計画 (H19年)

#### 青い森セントラルパーク及び周辺地区

本市の緑の拠点となる地区である。

住民の緑化意識が高い地区であり、市民参加による公園緑地の花壇づくりなどの緑化事業や街路樹の里親制度を促進し、青い森セントラルパークだけではなく、その周辺地区を含めて、市民とともに新たな緑の拠点をつくりあげることを目指す。

計画の中では、緑化重点地区として設定



キーワード・ポイント

緑の拠点

### (4) 青森市総合都市交通戦略 (H21年)

#### 青森操車場跡地等の整備

青森操車場跡地地区は、緑豊かな交流拠点としての空間整備を進めるとともに、交通結節点としての利便性の強化を図ること、新駅の設置等の交通施設整備を進め、鉄道からのバスへの乗り継ぎや徒歩・自転車利用といった、マルチモーダルのための交通環境整備を目指しています。



キーワード・ポイント

緑豊かな交流拠点

交通結節点としての利便性強化

新駅の設置等の交通施設整備

### (5) 「青森市新総合計画 - 元気都市あおもり 市民ビジョン -」基本構想 (H22年)

#### 操車場跡地地区

鉄道新駅などの交通施設整備を進めるとともに、地球環境に配慮した「青い森」を象徴する

緑豊かな交流拠点として、低炭素型の先導的な地区形成を進めます。



キーワード・ポイント

鉄道新駅などの交通施設整備

緑豊かな交流拠点

低炭素型の先導的な地区形成

## 4 . これまでに寄せられた意見等

### ( 1 ) 青い森セントラルパーク全域を防災のため公有地として 継続して 管理することを求める請願(H 2 3 年)

( 請願の趣旨 ) 一部抜粋

- ・青い森セントラルパーク12.8ヘクタールを中部地区の**広域避難所として指定**しており、**災害時には住民の命を守る避難場所**として、復旧・復興の際には支援活動の前線基地としての機能が期待される貴重な土地である。
- ・都市防災強化のため、青い森セントラルパークを**今後とも公有地として継続して管理**し、市民の安全のためのスペースを確保していただきたい。

**キーワード・ポイント**  
広域避難所としての機能  
公有地として継続管理

### ( 2 ) 市民等からの主な意見 (平成22年及び平成23年)

#### 防災について

- ・災害時の市民の**避難場所**として活用すべき。
- ・**平成23年3月11日の東日本大震災**以降、住民の避難のあり方が問題提起されている。  
あの場所は、こうした社会情勢を**意識した整備を求めたい。**

#### 公有地としての利活用

- ・公の土地を**民間に売却すべきではない。**
- ・**公共利用を第一義**として、民間による乱開発を回避できるよう具体的な方策を講じていただきたい。

#### 公共利用について

- ・現在の**公園のままでよい。**
- ・青森は緑地が少ないため、中心部に**緑地を増やすべき。**
- ・公園や公共施設など、**公共の場所として活用すべき。** 等

#### 交通関連施設について

- ・市としても交流拠点としての機能を確保する観点から、**操車場跡地には新駅及び南北自由通路が最低限必要なもの**だと考えているとしていたはずである。 等

**キーワード・ポイント**  
避難場所  
公有地を売却すべきではない。  
公共利用  
(公共施設設置、公園としての利用等)  
新駅及び南北自由通路  
設置



## 5 . 土地利用の検討に向けたキーワード・ポイントの整理

### 市の計画における位置づけ

緑の拠点  
交流拠点  
交通結節点  
(新駅設置などの交通施設整備)

### 本地区に求められる主な機能・役割

広域避難所としての機能  
公有地としての利活用  
・ 公共利用 (公共施設設置、公園としての利用等)  
・ 新駅設置、道路整備



## 6 . 土地利用の方向性

防災機能を備えた公園として利用  
新駅設置を含む交通結節点として利用  
公共利用の観点から公共的な施設の建設用地として利用



# 青森操車場跡地土地利用イメージ（短期～中期）

## 【西側土地利用計画案】

○緑地としての利用

西側(約2.0ha)

## 【南側土地利用計画案（市有地部分）】

○防災の観点からの利用  
○駅前広場・幹線街路としての利用

北側(約2.7ha)

## 【北側土地利用計画案】

○新駅・通路の設置  
○駅前広場・北側広場へのアクセス道路としての利用  
○緑地としての利用

## 【東側土地利用計画案】

○緑地としての利用

東側(約3.6ha)

## 南側（青い森セントラルパーク）

市有地：約5.2ha（自由運動広場（ダスト舗装））  
県有地：約7.6ha（多目的芝生広場）

## 【南側土地利用計画案（県有地部分）】

○現状の公園としての利用

交流・防災機能  
市有地

交通結節点機能

県有地

- 駅舎（位置は確定したものではありません。）
- 緑のネットワーク機能（緑地）
- 駅前広場、道路整備

※短期は概ね5年、中期は概ね10年程度を想定



# 青森操車場跡地土地利用イメージ（中期～長期）

## 【西側土地利用計画案】

- 緑地としての利用
- 道路としての利用

西側(約2.0ha)

## 【北側土地利用計画案】

- 新駅・通路の設置
- 駅前広場・北側広場へのアクセス道路としての利用
- 緑地としての利用

北側(約2.7ha)

## 【東側土地利用計画案】

- 緑地としての利用
- 道路としての利用

東側(約3.6ha)

## 【南側土地利用計画案（市有地部分）】

- 防災の観点からの利用
- 駅前広場・幹線街路としての利用
- 公共的施設としての利用

## 南側（青い森セントラルパーク）

市有地：約5.2ha（自由運動広場（ダスト舗装））  
 県有地：約7.6ha（多目的芝生広場）

## 【南側土地利用計画案（県有地部分）】

- 現状の公園としての利用

交流・防災拠点機能  
 交通結節点機能  
 市有地  
 県有地

- 公共的施設
- 駅舎（位置は確定したものではありません。）
- 緑のネットワーク機能（緑地）
- 駅前広場、道路整備

※中期は概ね10年、長期は概ね15年程度を想定

※**囲み部分**は短期～中期の利用イメージに付加するもの